



事務局ニュース

〈2号〉

2016. 5. 25

急に暑くなりましたね。季節の変わり目でもあり、体調に気を付けましょう。さて、リンドンジャネイロオリンピック代表選手が決定され、ブラジルでのプレ大会に齋藤咲恵さん（豊川高）と伊藤悠乃さん（愛知淑徳高・セ藤ヶ丘）が参加しました。20日からの「ジャパンオープン2016」の最終日には、代表選手壮行会が行われ、いよいよ本番です。

春季スプリント水泳競技大会

5月8日（日）日本ガイシアリーナ

今年度最初の公式大会が行われました。957名の参加があり、朝早くからアップをする選手たちの元気な泳ぎを見ることができました。

ジュニア強化の成果が上がり、昨年度は愛知県学童新記録が11種目（7名）、愛知県中学校新記録が6種目（9名）、愛知県高校新記録が7種目（12名）樹立されました。



選手らの栄誉を称え、本年度より前年度に愛知県新記録を樹立された選手並びに全国大会において優勝された選手の表彰式を行うことになりました。

この4月に中学生になった加藤晃成くん（写真左受賞者）と松原空彩虹さんが代表で（一社）愛知水泳連盟 箕輪田晃会長より新記録証と記念品を授与されました。

*全国大会においては、28種目40名の選手が優勝しました

「2020年東京オリンピック大会」にこの愛知県からたくさんの選手が選ばれること、若い選手の更なる記録の向上を期待しています。

日本泳法講習会

5月15日（土）



昨年発足した日本泳法委員会主催の講習会が愛知県体育館地下プールで行われました。現在、日本国内では13流派が継承されており、全国大会も開かれています。本委員会では、愛知水泳協会が継承してきた「小池流」を引き継いでいます。平泳ぎを主体とした「平游」が基本で、ゆっくり波を立てずきれいに泳ぐことが求められます。「差し手」「抜きて」「かもめ」などの種目があり、競泳とは違い優雅に水の上で「遊び」を披露することも日本泳法の醍醐味の一つとも言えるのではないのでしょうか。今年度は11月にも講習会を開催する予定です。

是非、皆さんも一緒に「遊び」しましょう

“水上に永くとどまる”ことが日本泳法の真髄と記されていたが、私はこの講習会に参加して、日本泳法の美しさを実感した。また、亀・かもめといった身近な動物名を泳法名に取り入れたところに、日本人が長くこの泳法に親しんできた歴史を感じることもできた。私自身の水泳の思い出は、毎夏恒例の知多での海水浴であるが、沖まで泳いで連れていってくれた父の「立游」なども懐かしく思い出された。日本泳法は日本の誇れる文化であり、継承の大切さを強く心に感じた講習会でした。（参加者より感想をいただきました）

第31回リンドンジャネイロオリンピック競技大会 今井月選手出場壮行会

来る5月28日（土）、名古屋観光ホテルにて、今井月選手（豊川高校）のオリンピック出場壮行会が行われます。中部ジュニア大会では招待選手として参加され、顔なじみの選手でもあります。今年4月に豊川高校に進学されたばかりの15歳、若さで突っ走り好記録をお土産に戻られることを期待します。



皆さん！応援よろしくお願ひします！！

〈2014年中部Jr、会長と〉